使用上のご注意

●ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
●お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

■お客様へ　**安全のために必ずお守りください**

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷などに結びつく可能性があります。

●器具の改造や指定部品以外の交換はしないでください。
（火災・感電・落下の原因）
●器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まないでください。
（火災・感電の原因）
●お手入れの際は、必ず電源を切り、取扱説明書に従ってください。
（感電の原因）
●お客様自身で電気工事はしないでください。電気工事士の資格が必要です。
（火災・感電の原因）

改造

取り付け

⚠ 注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害に結びつく可能性があります。

●器具の直下や近くにストーブなどの熱機器を置かないでください。
（過熱して火災の原因）
●光を直視しないでください。（長時間直視すると目を傷める原因）
●連続調光形の場合、器具は指定の制御装置と組み合せて使用してください。
（過熱して火災の原因）
●明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を実施してください。
●照明器具には寿命があります。設置して８～１０年経過すると、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。ＬＥＤ光源は寿命がきても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯です。
●本器具は周囲温度－２０℃～３５℃の範囲で使用するように設計してあります。
範囲外での使用はお控えください。但し夏季など一時的であれば４５℃以下の場所で使用することは可能です。高温での使用は短寿命、故障、発煙の原因となります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。
●点灯中及び消灯直後の器具には絶対触らないようお願いします。
●赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。
（雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります）
●受信電波が弱い場合には、ＡＭ及び短波放送に雑音が入る場合があります。
●器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
●放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。
●点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

取り付け

接触禁止

使用環境

■器具のお手入れについて

●上記の警告及び注意事項をよく読んだ上で下記の要領に従い実施してください。
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭き取り、
さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

保守

■保証について

●保証期間は商品お買い上げ日より１年間です。

■お願い

●ＬＥＤにはバラツキがあるため、器具内の個々のＬＥＤや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

横浜機工株式会社　〒２３６－８６４７　神奈川県横浜市金沢区福浦２丁目１１番１　ＴＥＬ（０４５）７８７－７３１４　ＦＡＸ（０４５）７８１－２７０９

（NP9093）

YK-LEDS
横浜機工

ＬＥＤ高天井用器具取扱説明書

保管用

形名　**ＨＬＬ０１Ｂ**（固定出力形）
ＨＬＬ０２Ｂ（固定出力形）
ＨＬＬ０３Ｂ（５～１００％連続調光形）
ＨＬＬ０４Ｂ（５～１００％連続調光形）

屋内用

○このたびは横浜機工ＬＥＤ高天井用器具をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。

【電気特性】

形　名	定格電圧	周波数	入力電流	消費電力
ＨＬＬ０１Ｂ ＨＬＬ０３Ｂ	ＡＣ１００－２４２Ｖ	５０／６０Ｈｚ	１．７１Ａ～０．７２Ａ	１６６Ｗ
ＨＬＬ０２Ｂ ＨＬＬ０４Ｂ	ＡＣ１００－２４２Ｖ	５０／６０Ｈｚ	１．１４Ａ～０．４８Ａ	１１１Ｗ

施工上のご注意

●施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みの上、正しく施工してください。
●取付工事の後、必ずお客様にお渡しください。

■工事店様へ

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷などに結びつく可能性があります。

●傾斜天井、補強の無い天井には取り付けないでください。
（火災・落下の原因）
●引火する危険のある雰囲気で使わないでください。
（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）
（火災の原因）
●器具取付けの際は電線を挟まないでください。
（絶縁不良により感電・火災の原因）
●配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけないようにしてください。
（絶縁破壊により感電・火災の原因）
●施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行ってください。

取り付け

⚠ 注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害に結びつく可能性があります。

●周囲温度は－２０℃～３５℃の範囲以外では使用しないでください。（点灯不良・火災の原因）
●高温、粉じん、油煙のある場所、振動・衝撃のある場所で使用しないでください。
（落下・感電・火災の原因）
●さびの出やすい場所、硫黄成分等の腐食性ガスの出る場所で使用しないでください。
（劣化による落下・光学特性の不具合の原因）
●風呂場など水や湿気の多い場所や雨水のかかる場所で使用しないでください。
（火災・感電の原因）
●表示された電源電圧以外では使用しないでください。（火災・感電の原因）
●狭い箱のような中で使用しないでください。又、器具を隠して使用する場合は、
放熱を妨げないでください。（器具が過熱して火災の原因）
●商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
●電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
●連続調光形の場合、器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組み合わせるとチラツキや騒音の発生、インバータ故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。

取り付け

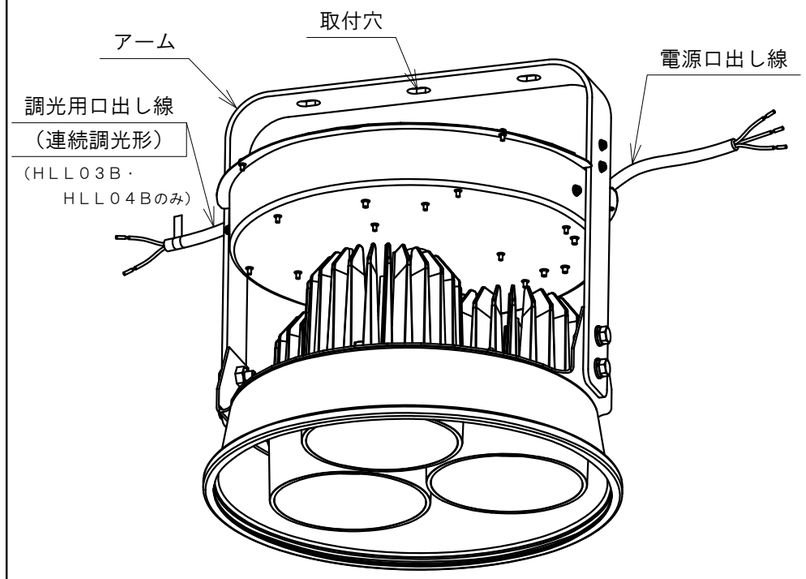
使用環境

●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

（NP9093）

■各部の名前と取り付け方

⚠ 警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行ってください（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



上図はＨＬＬ０３Ｂを示す

１取付前の確認

■器具重量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保してください。

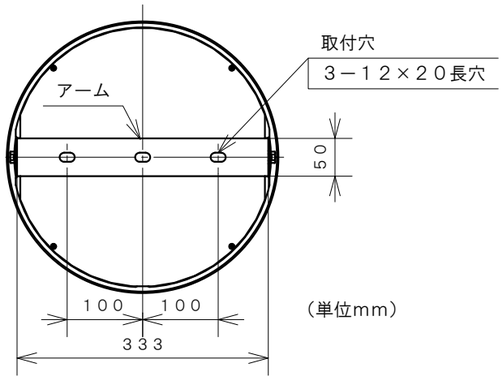
ＨＬＬ01Ｂ：約１０．８ｋｇ　　ＨＬＬ02Ｂ：約９．１ｋｇ
ＨＬＬ03Ｂ：約１０．９ｋｇ　　ＨＬＬ04Ｂ：約９．２ｋｇ

⚠ 警告

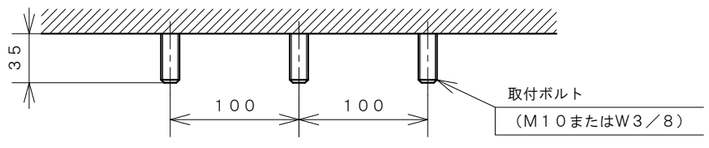
器具の取付けは質量等の荷重に耐える所に取付けてください。
（落下の原因となります）

■取付面は、水平かつ平滑面とします。

■取付面凹凸がある場合、取付ボルトにナットや平座金を入れるなどして取付面の水平を出してください。
（取付ボルトの出代はアームの天面から３５mmとしてください。）



■取付ボルト施工寸法



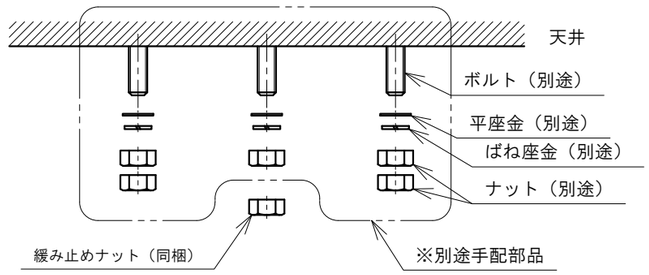
２器具を取付ける

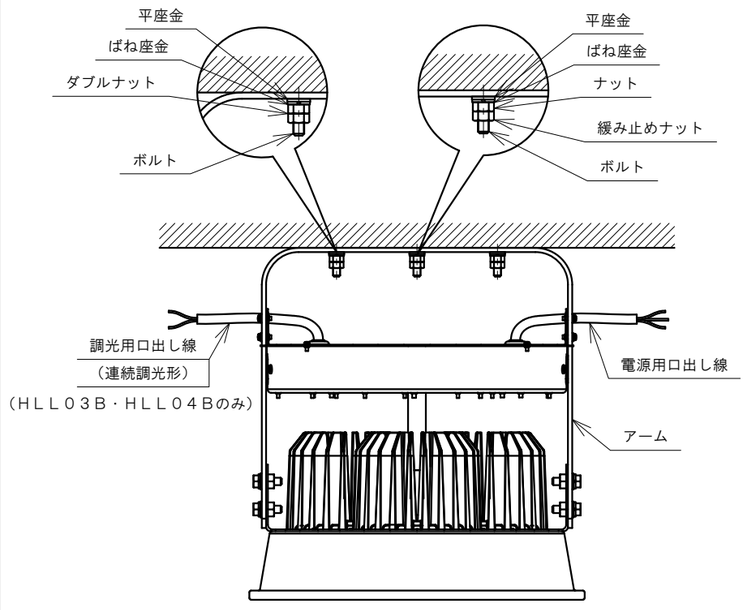
（１）アーム両端の取付穴（１２×２０長穴、２箇所）を使用し、別途手配のボルト（Ｍ１０又はＷ３／８）、平座金、ばね座金、六角ナット（ダブルナット）を用いて、緩みのないように確実に固定します。
（推奨締付けトルク２５Ｎ・m）

（２）アーム中央の取付穴（１２×２０長穴）を使用し、別途手配のボルト（Ｍ１０又はＷ３／８）、平座金、ばね座金、六角ナットと同梱の緩み止めナットを用いて、緩みのないように確実に固定します。
（推奨締付けトルク２５Ｎ・m）

⚠ 警告

器具の取付けは確実に行ってください。
（取付けが不完全な場合、落下の原因となります）





３器具の電源用口出し線に電源線、アース線を接続する

（１）電源電線は、６００Ｖビニルキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用してください。

（２）電気設備の技術基準省令第７条に従い、電源線に器具電源用口出し線の黒白線を圧着端子、スリーブ等を用いて確実に接続してください。

⚠ 警告

接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因となります。

（３）アース線（緑）を使用して、Ｄ種（第３種）接地工事を確実に行ってください。

⚠ 警告

アース工事は電気設備基準に従い行ってください。
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因となります）

（４）接続部は絶縁テープ等で絶縁被覆処理を確実に施してください。

⚠ 警告

接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電、感電の原因となります。

４器具の調光用口出し線に調光信号線を接続する（ＨＬＬ０３Ｂ・ＨＬＬ０４Ｂのみ）

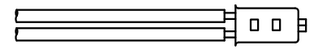
（１）調光制御を行う際は、下記の三菱電機照明製の制御装置と組合わせてご使用ください。
入力電圧が１５０Ｖ以下の場合：ＤＦＰ１０１５Ａ，ＤＦＰ２０１５Ａ
入力電圧が２００Ｖ以上の場合：ＤＦＰ２０１５Ａ
又、人感センサスイッチを使用する場合は、調光タイプとの組合わせはできません。接点タイプをご使用ください。

（２）制御装置への接続台数
※下記以外の入力電圧で使用する場合は、弊社までお問い合わせください。

機種名	入力電圧	接続台数
ＨＬＬ０３Ｂ	１００Ｖ	８台
	２００Ｖ	１６台
ＨＬＬ０４Ｂ	１００Ｖ	１３台
	２００Ｖ	２５台

（３）電気設備の技術基準省令第７条に従い、組み合わせて使用する当社指定の調光器信号線を圧着端子、スリーブ等を用いて確実に接続して下さい。

■接続例　リングスリーブ（Ｅ形）による接続



注）リングスリーブと電線の組合わせは仕様に従って適正な選定を行い、リングスリーブ専用の圧着工具を用いて圧着してください。

⚠ 警告

接続が不完全な場合、接続不良による発熱により、火災の原因となります。

（４）接続部は絶縁テープ等で絶縁被覆処理を確実に施してください。

⚠ 警告

接続部の絶縁処理が不完全な場合、漏電、感電の原因となります。